

ヘルシンキに現地法人設立

木材仕入れと現地情報収集を強化

ポラテック

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、4月1日付でフィンランドにポラテック・ヘルシンキ（矢澤公洋代表）を設立し、海外駐在員事務所を開設することを明らかにした。欧州からの木材調達を強化するだけでなく、機械メーカーなどの最新情報に触れることで、プレカット工場などのロボット、AI（人工知能）、IOT（モノのインターネット）など最新のテクノロジーを取り入れていきたい考えだ。

同社では月間7万5000立方メートルの木材（合板含む）を使用し、手産産企業や集成材メーカーなどからの調達率が高い。フィンランドを中心に欧州の大手ヘルシンキに海外駐在員事務所を設ける。代表には矢澤公洋木材本

らには欧州の木工機械メーカーなどの情報交換を深めていきたい考えだ。

駐在員事務所の開設で、現在の直買比率20%をさらに高めていく方針で、購買力を生かしてラミナなどを仕入れ、国内の集成材メーカーなどに供給し、製品を仕入れるような流れも考えている。

なお、同社1月度のプレカット加工実績は構造材7万7946坪（前年同月比13・3%減）、羽柄材5万736坪（同6・4%減）、

合板3万9492坪（同4・5%減）と減少。外販受注は2204棟（同3・4%減）、外販売上2214棟（同10・1%減）といずれも減少した。非住宅は7169坪（同33・4%増）、非住宅比率は初めて10%に達した。

北大路康信専務の話
当社は商社になるつもりはないが、商社でも欧州に駐在員を置くところは少ない。より多くの情報を得て、仕入れソースを拡充したい。1月のプレカット

の加工実績は低いが、パンクを警戒して慎重になりすぎた。基礎工・大工の不足は深刻で、着工が進んでいない。